

*がある記入箇所は必須記載事項です。記入漏れのないようにお気をつけ下さい。

登録番号	* 沖縄777	氏名又は名称	* 遊漁太郎
作成日	* R1/5/1	変更日	1: / / 2: / / 3: / /

別表 1 業務の実施体制等

事業者の氏名又は名称（法人にあっては代表者の氏名も記入）		* 遊漁太郎		
業務主任者の氏名	当該事業者のみに選任されている者	* 遊漁太郎、遊漁次郎 ※選任した遊漁船業務主任者全員を記入		
	他の事業者からも選任されている者	遊漁次郎 ※他の遊漁船業者にも選任されていればこちらに記入		
	上記の者について業務の形態（該当に○）	<input type="radio"/> 多客期に必要なに応じて業務を行ってもらう。 <input type="radio"/> その他（ ） ※他の事業者からも選任されている者がいる場合のみいずれかに○をつける		
船長の氏名		<input type="radio"/> 業務主任者と同じ。 <input type="radio"/> その他 ※上記の業務主任者以外にも船長がいる場合は記入 例：上記の他、遊漁三郎		
連絡責任者	氏名（連絡先）	* 遊漁花子 (TEL: 123-456-7890) ※遊漁船業務主任者以外の者で操業中に常時連絡を取ることができる者を設定する。別表10の連絡責任者と統一すること。		
	住所	* 那覇市泉崎1-2-2		
所属している団体 （該当するものを全てを記入）	漁業協同組合	事業協同組合 企業協同組合等	任意団体	
	名称	〇〇漁業協同組合	〇〇漁業組合	〇〇釣り組合
	連絡先	TEL: 123-456-7890	TEL: 123-456-7890	TEL: 123-456-7890
営業期間		<input type="radio"/> 通年 <input type="radio"/> 月 日 ~ 月 日		

登録番号	*	沖縄777	氏名又は名称	*	遊漁太郎
作成日	*	R1/5/1	変更日	1:	/ /
				2:	/ /
				3:	/ /

別表2 案内する漁場の位置等

案内する漁場を管轄する都道府県名	*	沖縄県
------------------	---	-----

時 期	案内する漁場の位置	採捕させる水産動植物の主な種類
* 通年 7～9月 (A丸)	* 久米島沖 本部半島周辺海域 名護湾内 喜屋武岬地先 渡嘉敷島周辺	* グルケン アジ マグロ類 等

登録番号	* 沖縄777	氏名又は名称	* 遊漁太郎
作成日	* R1/5/1	変更日	1: / / ;2: / / ;3: / /

別表3 遊漁船の係留場所等

	遊漁船の名称	主要な時期	係留場所の位置	係留施設（又は水域施設）の管理者
遊漁船の係留場所	* A丸	* 通年	* 〇〇市〇〇漁港A岸壁	* 〇〇市
	B丸	1~3月	〇〇市〇〇港B船だまり ※係留する前に、係留施設の管理者へ利用申請等を行って下さい。違法係留は行政指導の対象となります。	〇〇村
利用者の乗降場所	*	*	* 係留施設に同じ	*

※別表4は船舶検査証書や船舶検査手帳及び漁船登録票を参照して記入して下さい。

登録番号*	沖縄777			氏名又は名称*	遊漁太郎		
作成日	* R1/5/1	変更日	1: / /	2: / /	3: / /		

別表4 (全 1枚の 1枚目) 遊漁船の総トン数又は長さ、定員及び通信設備等

整理 番号	遊漁船の 名称	船舶番号等	総トン数	長さ	旅客定員	業務形態 主たる業務：◎ その他全て：○	
		遊漁船の使用状況 (該当に○)					
		遊漁船の記載状況 (該当に○)			通信設備 の状況 (該当に○)		
		船舶の所有状況 (該当に○)					
		遊漁船の連絡方法 (無線の形式と周波数等)					
1	A丸	* 123-4567	5 トン	7 m	* 5人	(◎) 船釣り () 磯渡し () 筏渡し () 防波堤渡し () その他 ()	
		(○) 遊漁船専用・() 漁船と兼用・() 他使用と兼用					
		(○) 単独記載・() 重複記載			() 無線		
		(○) 自己所有船舶・() 他者所有船舶			() 他の設備		
		(○) 設備無し					
		携帯電話 (090-1234-5678)					
2	B丸	* ON2-1234 345-6789	10 トン	10 m	* 10人	(◎) 船釣り (○) 磯渡し () 筏渡し () 防波堤渡し () その他 ()	
		() 遊漁船専用・(○) 漁船と兼用・() 他使用と兼用					
		(○) 単独記載・() 重複記載			(○) 無線		
		(○) 自己所有船舶・() 他者所有船舶			() 他の設備		
		() 設備無し					
		無線 型式: A3E-1W					
		*	トン	m	* 人	() 船釣り () 磯渡し () 筏渡し () 防波堤渡し () その他 ()	
		() 遊漁船専用・() 漁船と兼用・() 他使用と兼用					
		() 単独記載・() 重複記載			() 無線		
		() 自己所有船舶・() 他者所有船舶			() 他の設備		
		() 設備無し					
重複記載している 場合の事由		() 多客期にチャーターするため () その他 ()					

注) 重複記載とは、他の事業者の遊漁船として登録簿に記載されている船舶を当該事業者の遊漁船としても記載されているものをいいます。

登録番号*	沖繩777	氏名又は名称*	遊漁太郎
作成日*	R1/5/1	変更日	1: / / ;2: / / ;3: / /

別表5 情報を収集すべき事項

<p>(1) 利用者の安全の確保に必要な情報 (該当に○)</p>	() 出航地における波高、風速、視程
	() 出航中止を判断する団体の出航判断等に関する情報
	* (○) 水路通報、気象・海上警報等官公庁の発する遊漁船の運航に関する情報
	* (○) 乗船する利用者数 (12歳未満の小児が含まれる場合は、その人数)
	()
<p>(2) 漁場の安定的な利用関係の確保に必要な情報 (該当に○)</p>	* (○) 法第15条に基づき周知すべき内容について、案内する漁場を管轄している都道府県知事が提供している情報 ※法とは「遊漁船業の適性化に関する法律」のことです。
	* (○) 漁場利用協定や漁場慣行等について、案内する漁場を管轄する都道府県に設置されている海面利用協議会が提供している情報
	()
	()
	()

登録番号 *	沖繩777	氏名又は名称 *	遊漁太郎
作成日 *	R1/5/1	変更日	1: / / :2: / / :3: / /

別表6 出航中止基準及び帰航基準

出航中止基準	出航の可否の判断は、以下の方法により行います。(該当に○)					
	(○) 単独の判断	() 団体による判断				
<p>※記入される場合は、遊漁船業者で判断する基準を記入して下さい。</p>	<p>出航地や案内する漁場、出航地から案内する漁場までの間において、以下のいずれかの状況となっている場合、出航を中止します。</p> <p>* (○) 海上警報(風、霧等)、波浪警報の発令中</p> <p>() 出航地の波高 <input type="text"/> m</p> <p>() 出航地の風速 <input type="text"/> m</p> <p>() 出航地の視程 <input type="text"/> m</p> <p>* () 事業者が危険と判断したとき</p> <p>(○) その他 ()</p>	<p>出航中止の判断は、以下のとおり行います。</p> <p>① 出航中止を判断する団体名</p> <p>* <input type="text"/></p> <p>② 上記団体の代表者、連絡先</p> <table border="1"> <tr> <td>代表者 *</td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td>連絡先 *</td> <td><input type="text"/></td> </tr> </table> <p>③ 団体の構成員の氏名又は名称及び登録番号</p> <p>別紙1のとおり</p> <p>④ 出航中止の判断の方法</p> <p>別紙2のとおり</p>	代表者 *	<input type="text"/>	連絡先 *	<input type="text"/>
	代表者 *	<input type="text"/>				
連絡先 *	<input type="text"/>					
帰航基準	<p>案内する漁場において、以下のいずれかの状況に至った場合、帰航することとします。</p> <p>* (○) 海上警報(風、霧等)、波浪警報の発令</p> <p>* (○) 利用者に急病人やケガ人が出たとき</p> <p>() 漁場における波高 <input type="text"/> m</p> <p>() 漁場における風速 <input type="text"/> m</p> <p>() 漁場における視程 <input type="text"/> m</p> <p>* (○) 上記の他、利用者の安全の確保が困難になると予想されるとき</p> <p>() その他 ()</p> <p>※記入される場合は、遊漁船業者で判断する基準を記入して下さい</p>					

登録番号	* 沖縄777	氏名又は名称	* 遊漁太郎
作成日	* R1/5/1	変更日	1: / / ;2: / / ;3: / /

別表7 気象又は海象等の状況が悪化した場合の対処

気象又は海象等の状況が悪化した場合の避難する場所	出航した港等に帰航できない場合は、以下の場所に避難をします。	
	案内する漁場の位置	避難する港
	* 久米島沖	* ○○港
	* 本部半島周辺海域	* ◇◇港
	* 名護湾内	* ○○漁港
	* 喜屋武岬地先	* △△漁港
	* 渡嘉敷島周辺	* ◇◇漁港
上記の他、帰航を判断した場所から最も近く安全に避難できる場所に避難します。		
※避難時に受入が可能か、あらかじめ施設管理者に確認して下さい。		

※磯等渡し業務を行う場合のみ記入して下さい。

磯等（磯、筏、防波堤等）渡しの業務を行う場合	
磯等と遊漁船との間の連絡方法	() 携帯電話 () 利用者に渡した発煙筒 () その他 ()
磯等に遊漁船の旅客定員以上の利用者を渡す業務の形態の場合にあっては、緊急的に利用者を収容し帰航させる方法	* 該当なし 利用する遊漁船の旅客定員を超える利用者を磯等へは渡しません。 ※複数回往復して旅客定員以上の利用者を磯等へ渡す場合は、緊急時の帰航方法を記入して下さい。

登録番号*	沖繩777	氏名又は名称*	遊漁太郎
作成日*	R1/5/1	変更日	1: / / ;2: / / ;3: / /

別表8 安全の確保のため周知すべき内容及び方法

周知の方法 (該当に○)	周知する内容 (該当に○)
<p>(○) 遊漁船に周知内容を掲示する。</p> <p>() 遊漁船の乗船前に書面を配布する。</p> <p>※磯等渡しの業務を行う場合のみ○を記入して下さい。</p>	<p>一般的事項</p> <p>* (○) 出航から帰航するまでの間、船長及び業務主任者の指示に従うこと</p> <p>* (○) 遊漁船の航行中はむやみに立ち歩かないこと</p> <p>* (○) 航行中、波の影響により船体が動揺することがあることから、動揺が比較的小さい船体中央より後方の部分に乗船すること</p> <p>* (○) 天候急変時の帰航決定について船長の指示に従うこと</p> <p>* (○) 救命胴衣及び救命浮環の保管場所及び使用方法</p> <p>* (○) 落水者の船上への引揚げを補助するはしご等の保管場所及び使用方法</p> <p>* (○) 乗船中は船室内にいる場合を除き、救命胴衣等（船に備え付けられ、又は持ち込まれた、船の種類や航行区域に応じて国土交通省が定める要件に適合するもの）を着用すること</p> <p>() その他 ()</p> <p>磯等渡しの場合</p> <p>* () 磯等渡し及び磯等の上においては救命胴衣等を着用すること</p> <p>* () 磯等で緊急事態が発生した場合における遊漁船との連絡方法</p> <p>() その他 ()</p>
<p>漁場において口頭で説明する。</p> <p>※磯等渡しの業務を行う場合のみ○を記入して下さい。</p>	<p>一般的事項</p> <p>() その他 ()</p> <p>磯等渡しの場合</p> <p>* () 磯等からの帰航時間</p> <p>* () 磯等で天候が急変した場合における避難場所</p> <p>() その他 ()</p>

登録番号*	沖繩777	氏名又は名称*	遊漁太郎
作成日*	R1/5/1	変更日	1: / / 2: / / 3: / /

別表9 安全の確保のため船長及び業務主任者が遵守すべき事項

航行中及び利用者が水産動植物を採捕している間、船長及び業務主任者は以下のとおり行動します。（該当に○）

一般的事項

- * (○) 出航から帰航するまでの間は、飲酒はしません。また、酒気を帯びて漁場に案内しません。
- * (○) 航行中、波の影響により船体が動揺するときは、波の状況について適切な見張りをを行うとともに、波に対する進路の変更を行い、かつ、安全な速力まで十分な減速を行うことにより、船体動揺の軽減に努めます。
- * (○) 航行中、波の影響により船体が動揺して危険が予想されるときは、利用者に対して動揺が比較的小さい船体中央より後方の部分に乗船するよう指導します。
- * (○) 乗船中は、船室内にいる場合を除き、救命胴衣等（船に備え付けられ、又は持ち込まれた、船の種類や航行区域に応じて国土交通省が定める要件に適合するものをいいます。以下同じ。）を着用します。
- * (○) 利用者には、乗船中は、船室内にいる場合を除き、救命胴衣等を着用させます。
- * (○) 利用者の乗降場所から漁場又は漁場から漁場までの間における岩場、浅瀬、防波堤、養殖施設等を調査し、危険性の評価を行い、特に危険と認められる場所について、別表9の2にとりまとめ、安全に航行できる航路、避険線等の設定を行います。
- * (○) 航行中はGPSプロッター等を利用して自船の位置を確認し、上記で設定した航路の航行、避険線に基づいた安全な航行を行います。
- * (○) 12歳未満の小児には、乗船中は、船室内にいる場合を除き、常時、救命胴衣等を着用させます。
- * (○) 気象又は海象等の状況の悪化等、利用者の安全の確保のために必要と判断される場合は、船室内においても利用者に救命胴衣等を着用させます。
- () その他 ()

船釣りをする場合

- () 利用者を案内している間は、船長自ら釣りをしません。
- () 漁場が混み合っている場合は、船長自ら釣りをしません。
- () 船長以外に適切に見張りできる者がいる場合を除き、船長自ら釣りをしません。

※磯等渡しの業務を行う場合のみ○を記入して下さい。

磯等渡しをする場合

- * () 利用者の安全確認のため、渡した磯等を定期的に巡回します。
- * () 磯等において採捕を終了した利用者を収容し帰航する際、利用者が遊漁船に乗船していることを確認します。

上記以外（観光定置、観光底びき等）をする場合

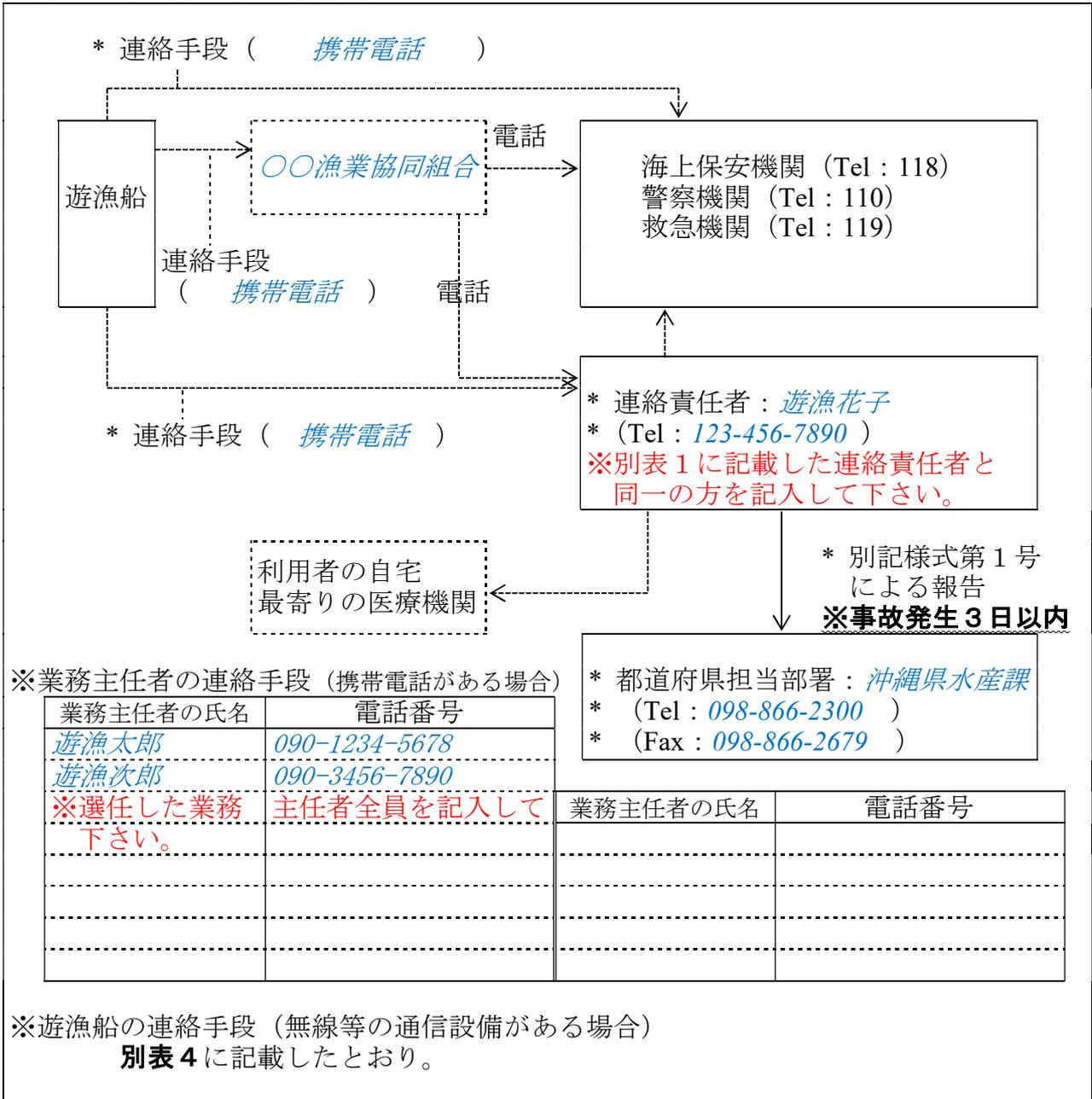
- * () 利用者が網揚げ等をしている間、利用者に危険が生じないよう安全に操業します。

別表9の2

利用者の乗降場所から漁場又は漁場から漁場までの間における特に危険と認められる場所（該当箇所を記入）	
岩場	<p>〇〇沖、△△岩</p> <p>※該当箇所がない場合は「特に無し」と記入して下さい。</p>
浅瀬	<p>〇〇瀬（〇〇沖）</p> <p>〇〇沖のリーフエッジ</p>
防波堤	<p>〇〇漁港内、△△防波堤</p> <p>〇〇漁港内、南側の一文字</p> <p>〇〇海岸沿い、消波ブロック</p>
養殖施設	<p>〇〇漁港内、魚類養殖施設</p>
その他	
自船の位置及び設定した航路の航行並びに避険線に基づいた航行の確認方法	
<p>G P S、レーダー、目視による確認</p>	

登録番号	* 沖縄777	氏名又は名称	* 遊漁太郎
作成日	* R1/5/1	変更日	1: / / 2: / / 3: / /

別表 10 事故発生時の連絡方法



登録番号*	沖縄777	氏名又は名称*	遊漁太郎
作成日*	R1/5/1	変更日	1: / / 2: / / 3: / /

別表 11 法第 15 条に基づく周知の内容及び方法等

周知の方法 (該当に○)	<input type="radio"/> 遊漁船に周知内容を掲示する。 <input type="checkbox"/> 遊漁船の乗船前に書面で配布をする。
周知する内容	<p>案内する漁場に係る下記の事項であって、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 水産資源保護法（昭和26年法律第313号）に基づく爆発物、有毒物の使用禁止 ② 漁業法（昭和24年法律第267号）、水産資源保護法に基づく省令（瀬戸内海漁業取締規則等） ③ 都道府県漁業調整規則 ④ 海区又は連合海区漁業調整委員会の指示 ⑤ 広域漁業調整委員会の指示 ⑥ 事業者が所属する団体が当事者となっている漁場利用協定（沿岸漁場整備開発法（昭和49年法律第49号）に基づき届出されたもの。） ⑦ 事業者が所属する漁業協同組合が定めた資源管理規程（水産業協同組合法（昭和23年法律第242号）に基づき認定を受けたもの。） 利用者に係る ア) 漁具及び漁法（撒き餌、釣り餌の制限を含む。）の制限 イ) 水産動植物の大きさの制限 ウ) 採捕禁止となっている水産動植物の種類 について周知します。 <p>※沖縄県漁業調整規則や操業区域のルール（海区漁業調整委員会指示等）を確認の上、該当しないものは二重線で消し、捺印して下さい。</p>
利用者保護のために業務主任者が遵守すべき事項 (該当に○)	<p>* <input type="radio"/> 都道府県漁業調整規則又は海区、連合海区若しくは広域漁業調整委員会の指示によって定められた水産動植物の採捕禁止区域（利用者に採捕させる水産動植物に係るものに限る。）に案内しません</p> <p>* <input type="radio"/> 法に基づいて周知した大きさの制限以下の水産動植物が相当程度採捕された場合は、漁場の位置を変更します。</p> <p>* <input type="radio"/> 法に基づいて周知した採捕禁止となっている水産動植物が相当程度採捕された場合は、漁場の位置を変更します。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>

※ 「周知する内容」のうち、該当しない部分は2本線（＝）で消したうえ、捺印すること